

2022年度の事業環境と業績

事業環境

国内景気は、年度前半でのウィズコロナの進展により行動制限が緩和されるなど景況感が改善し、個人消費を中心に緩やかに持ち直しましたが、その後は物価上昇や世界経済の減速が重石となり基調判断においても停滞気味の状態が続きました。

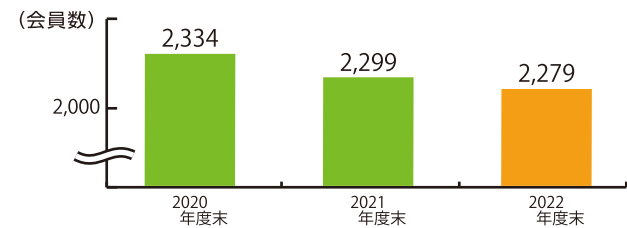
日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みのもと、「物価安定の目標」の実現を目指す金融政策を維持しつつ、2022年12月に市場機能の改善を図るため、長期金利の変動幅を従来の「±0.25%程度」から「±0.50%程度」に拡大すると長期金利は一時上昇しましたが、年間を通じては概ね0.000%～0.545%の範囲で推移しました。

このような状況下、物価上昇による家計負担増が勤労者の生活を直撃するなど、厳しい環境にありましたが、第4期中期計画『Connect R70』のもと当金庫の果たすべき役割の重要性は増していると認識し、継続して勤労者が安心できる持続可能な社会の実現に向けて「会員・勤労者の“つながり”」を拡げる取組みを進めてまいりました。

業績の概要

●会員数の推移

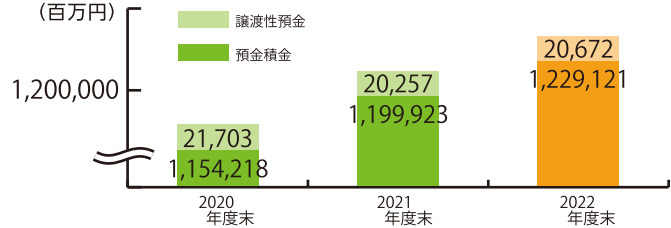
2,279会員



運営委員会や会員と連携して団体会員の加入促進に取組み、新たに14団体が加入、一方、「構成員減少」や「会員企業の合併や組織再編による解散」等を理由とした脱退が34会員ありました。

●預金残高の推移

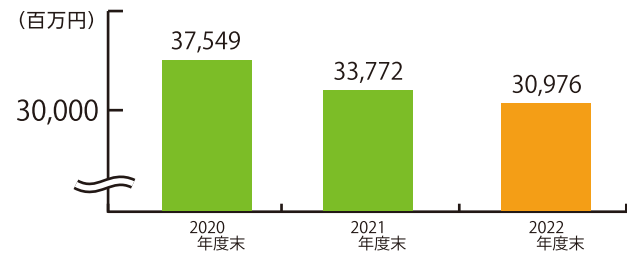
1兆2,497億93百万円



金利上昇せ定期「特別金利定期」での3年・5年の預入期間追加など、お客様ニーズにお応えし安心して預け入れいただける環境整備を進めました。

●預かり資産残高の推移

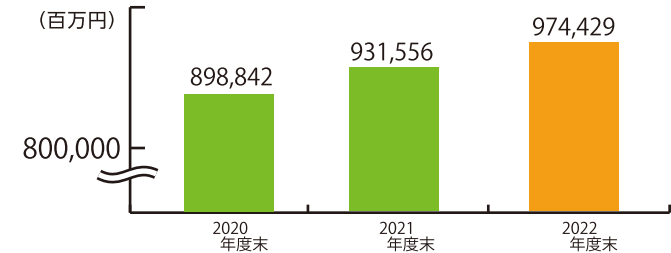
309億76百万円



個人向け国債の満期償還や金利低迷による利用減少により、国債の残高は大きく減少したものの、投資信託ではお客様の資産形成ニーズに応える販売が着実に進みました。

●融資残高の推移

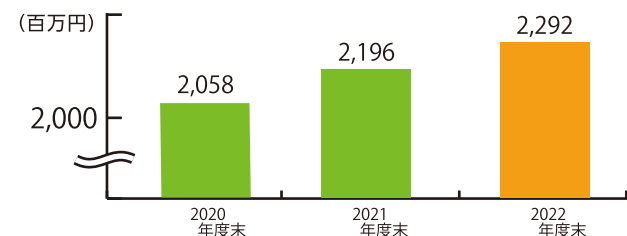
9,744億29百万円



無担保ローンでの新たな金利割引制度やWeb完結型ローンの導入、住宅ローンでの相談しやすい利用環境の整備や住宅業者会との連携強化などを進め、会員への教宣活動を強化しました。

●当期純利益の推移

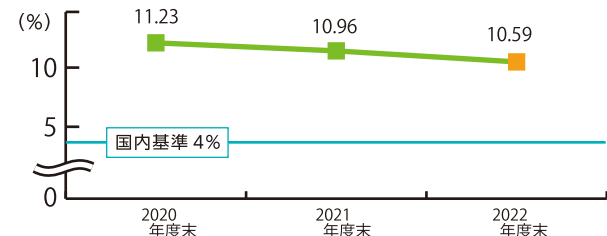
22億92百万円



貸出金利の増加等により経常収益は前期比0.59%増、経常費用は業態事務センターへの委託費等の減少により同0.23%減、結果、当期純利益は同4.37%増加し7期連続の増益となりました。

●自己資本比率(単体)の推移

10.59%



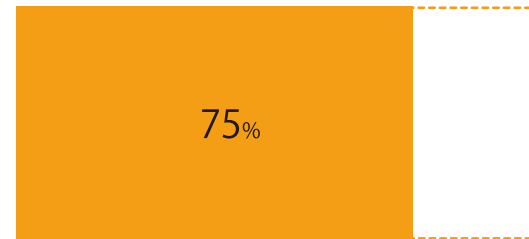
貸出金の増加に伴い、自己資本比率算出の分母となるリスクアセット額が増加したことから、前期比0.37ポイント低下し10.59%となりました。

働きやすい職場の環境整備 (2022年度各種実績)

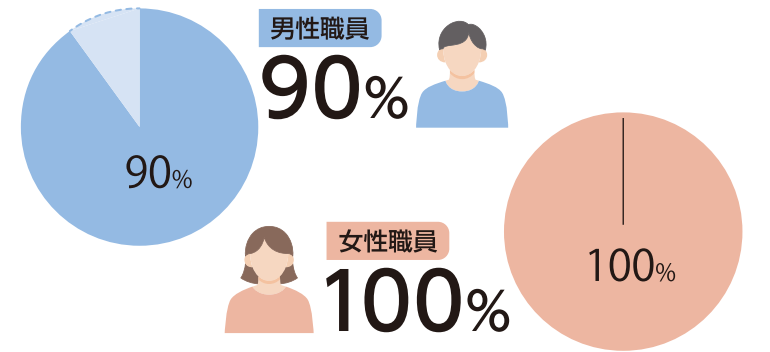
当金庫は、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」としてその社会的使命と役割を果たすために、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりに向けた取組みを積極的に推進しています。

●一人あたりに換算した有給休暇取得日数の割合

75%

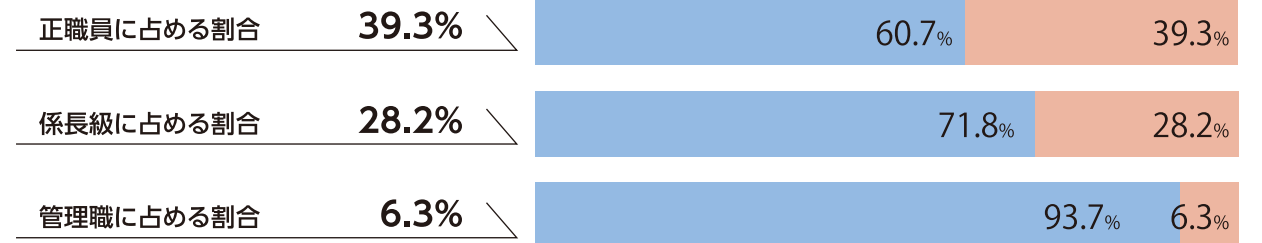


●育児休業等(育児目的休暇制度を含む)を利用した職員の割合



すべての職員が職業生活と家庭生活の両立を図りながら、十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに向けて行動計画を策定しています。

●女性職員の割合



多様な人材活用として、特に女性職員のキャリア形成につなげる職場環境や教育体制を整えることを目的に行動計画を策定しています。



当金庫では、「仕事と子育て」の両立支援の他、介護休職や介護休暇、介護のための勤務時間の短縮に関する制度や、長期にわたる疾病の治療と仕事を両立するための支援プログラムなど、「仕事と介護・治療」の両立支援を策定し、職員を支援しています。

●主な事業状況の推移

(単位:百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益	14,796	14,829	14,953	14,885	14,974
経常利益	1,891	2,227	2,728	2,926	3,043
当期純利益	1,414	1,820	2,058	2,196	2,292
純資産額	82,603	82,959	84,424	84,771	83,434
総資産額	1,331,202	1,338,873	1,343,335	1,347,219	1,396,688
貸出金残高	810,323	856,956	898,842	931,556	974,429
有価証券残高	144,210	142,189	144,151	137,204	125,558
預金積金残高	1,078,136	1,098,022	1,154,218	1,199,923	1,229,121
出資総額	3,874	3,865	3,860	3,856	3,849
出資総口数(口)	3,874,754	3,865,383	3,860,523	3,856,836	3,849,612
出資に対する配当金	116	115	115	115	115
職員数(人)	694	693	694	672	662
単体自己資本比率(%)	12.09	11.61	11.23	10.96	10.59

(注) 1. 預金積金残高は、譲渡性預金を除いて記載しています。
2. 2021年度から「収益認識に関する会計基準」が適用され財務諸表等を税抜方式で記載しています。